

TOPICS

経済建設委員会調査・議員研修	2
県道要望書提出・正副議長研修	3
一般質問	4
議決結果	13
決算審査特別委員会(令和6年度)	14
諸般の報告	16

あなたと議会を結ぶ 議会だより



総合グラウンドボランティア作業



経済建設常任委員会所管事務調査

期日：令和7年8月6日（水）

場所：南九州沖縄クボタ本社（霧島市）

所管事務調査：スマート農業について（自動操舵システムや自動運転・KSAS）

本町は、農家の高齢化・担い手不足・農家戸数の減少などが深刻化しており、持続可能な農業維持を図るためには「スマート農業」の導入が急務と考えている。そこで南九州沖縄クボタ本社でスマート農業について調査を行った。

成果

- ・自動操舵については単独走行だけでは誤差が生じるのでRTK基地局を設置して制度を上げる必要がある。
- ・KSASはクボタが提供する農業機械に最先端技術とICTを融合させたクラウドサービス。
- ・RTK基地局：3種類ある「固定基地局」「移動基地局」「ネットワーク型方式」他、圃場での通信状況や専用受信機・補正情報を取得する機器や通信契約が必要になる。
- ・KSASはトラクター等と連動することで自動での作業日誌の作成等や各種データの見える化につながる。また、作業計画→作業指示→作業日誌→施肥計画→分析→作業進捗→作業日誌→収量分析、PDCA型農業の実現につながる。
- ・自動操舵システム及びKSASは徳之島3町で導入されている。
- ・自動操舵システム仕様のトラクターに乗車。労力の省力化を実感した。



市町村議会議員研修会

期日：令和7年8月7日（木）

場所：川商ホール（鹿児島市）

講演：1「アメリカと世界、そして日本」上智大学教授 前嶋 和弘 氏

2「持続可能な観光地域づくりの思考法」(株) インアウトバウンド東北 西谷 雷佐 氏

まとめ

トランプ政権による関税や移民政策など自国第一主義の潮流が広がり世界の不確実性が増していることや持続可能な観光地域づくりについて大変参考になりました。

県道国頭知名線(正名地区) 改良整備の促進に関する要望書を提出

8月8日(木)に県道国頭線の改良整備の早期実現を求める要望書を知名町議会から県土木課長に対し提出しました。(禧久県議・寿県議・外山議長・今井町長・福井議員・西文男議員・窪田議員)

正名地区の約580mの区間は、通学路にもなっており、歩道が未整備且つ見通しの悪いカーブもあり、さらに農業用車両や大型車両も頻繁に通るため、登下校の子どもたちにとって非常に危険な状態が続いています。

要望事項は歩道の早期整備・道路改良整備の推進・財源の確保となっており、これらは地域住民が安心して暮らせる環境を整えるため不可欠なものです。



町村議会正副議長研修会

8月19日(火)ウェルビューかごしまに於いて町村議会正副議長研修会が開催され外山議長が「地方議会の挑戦～政策サイクルを意識した議会改革～」と題して本議会の議会改革の取組を発表しました。

内容については、議会の役割と意義、議会改革を始めた背景、そして改革の柱である「町民起点の政策提言」や「議会の自律的改革の推進」について発表しました。

あわせて、政策サイクルの実践として、町民意見の集約から町の事業化に至るまでの経緯や、議会改革における各議員の役割などについても紹介しました。

最後に今後の展望として新しい議会価値の創造や住民ニーズに応える議会づくり、組織力とパフォーマンス強化を挙げ、常に自らを変革し、町民福祉の向上を実現する議会を目指すことを述べました。





福川 勝久 議員

一般質問

町の観光スポットの駐車場整備が必要ではないか。

町長 整備の可能性について協議してまいりたいと思います。

ウジジ浜公園について

問 ウジジ浜公園は、多くの人が訪れる場所ですが、駐車場が狭く特に大型バスや利便性に問題があります。そこで駐車場の増設や再整備が必要と考えるが、町として整備することは可能かどうか、お伺いします。

答：町長 ウジジ浜公園は、地域住民をはじめ観光客の皆様にも親しまれており、特に週末や連休中などは多くの来訪者で賑わう場所となっております。その一方で、ご指摘のとおり、現在の駐車場では規模が限られており、大型バスの駐車や、転回が困難な状況にあることから、安全性や利便性の面で課題があると認識しております。

しかしながら、駐車場の整備には、用地の確保に加え、予算措置や環境への影響、地域への配慮など様々な要素を総合的に検討する必要がありますことから、まずは関係機関である沖永良部島バス企業団や芦清良字の地域住民の皆様のご意見を伺いながら、整備の可能性

性について協議してまいりたいと思います。



ウジジ浜公園

町内他観光スポットについて

問 町内の他の観光スポット（シニキヤ浜、ビーチロック、沖泊海浜公園）における駐車場、道路整備について、町としてどのように現状を認識し、今後どのような対応を進めていくお考えかお伺いします。

答：町長 今後の整備についてですが、正名田皆海岸線からシニキヤ浜へと向かう正名海岸線は未舗装道路であります。現地を確認したところ、一部では乳剤散布や、コンクリート充填によ

る補修路が見られますが、シニキヤ浜付近約50m程度の路面状況が悪化しているため、碎石充填等を行い、路面の健全化を図る予定です。

しかしながら、その他の箇所については、前述同様、様々な要素を総合的に検討する必要がありますことから、まずは関係機関や地域住民の皆様のご意見を伺いながら、整備の可能性について協議してまいりたいと存じます。

町民体育館について

問 現在の町民体育館の老朽化の状況と、それに対する町の認識についてお伺いします。

答：町長 町民体育館は、昭和61年12月に建設されまもなく40年が経過しようとしています。これまで、大規模な改修として平成23年度に屋根の改修工事、今年度はフロアの研磨塗装、トイレの改修を実施しており、近くフロア照明のLED化を行うところです。

問 現状の武道館の安全性の評価や防災上のリスクを踏まえたうえで、今後の利活用の可能性（特に若者の活動

の場としての活用）や撤去・整備など、町としてどのような方向性を検討しているのか、また、その判断を下す時期や今後の対応スケジュールについてお伺いします。

答：町長 これまで検討委員会を開催するなど有効活用を模索して参りましたが、これといった活用策が見いだせない状況が続いております。しかしながら、内部の構造体は健全性が概ね保たれていることから、現在はスケートボードの練習場として愛好者の皆様に利用していただいております。現在使用している団体もいることから、今後の方向性については関係機関と協議し、安全性も含め検討して参ります。



町民体育館



武道館

動画はこちら





田尻 博樹 議員

花卉振興について

一般質問

町長 露地栽培品種の推進を図る。

花卉振興の今後の方針について

問 沖永良部島は「花の島」とも言われているが、本町では近年テッポウユリをはじめ花卉農家の減少や経営品目の転換が止まらない現状である。町として今の現状をどう捉えているのか、また今後の方針について伺う。

答：町長 本町の切花農家戸数は、最も多かった平成12年度では延べ462戸、うちテッポウユリが117戸でした。また当時の農家戸数は全体で1,106戸です。一方で、令和5年度時点の切花農家戸数は延べ92戸、うちテッポウユリが24戸、農家戸数全体が736戸となっている。最盛期を100として比較しますと切花農家戸数は19.9%、テッポウユリ農家戸数は20.5%全体の農家戸数は66.5%と減少しています。今後の方向性についてですが、施設の導入を要しない露地栽培可能な品種を推進することで花卉生産量の回復を図りたいと考えています。露地栽培可能なテッポウユリ品種『スカイホルン』の導入、栽培方法が確立しているグラジ

オラスの振興が力ギになると考えています。今後も生産者や出荷団体とともに関係機関と連携して本町花卉の振興を図ってまいります。



地域計画について

問 令和7年4月から農業経営基盤強化促進法の改正により農用地利用集積促進計画(利用権設定)が廃止され、貸借については農地法3条の許可を受けるか、農地バンク(中間管理機構)事業の2通りとなったが、農地バンクの集積は進んでいるのか伺う。

答：町長 地域集積協力金を活用した令和4年度と令和5年度においては、地域集積協力金を活用したことにより、直近5年間で比較すると集積が

大きく進んだところであります。ご質問にもありましたとおり、これまで貸借契約における主流であった農業経営基盤強化法での利用権設定が廃止されました。これに伴い、前年度あたりから基盤強化法での終期を迎える契約の更新や新規契約については農地中間管理事業を利用したものに移っています。

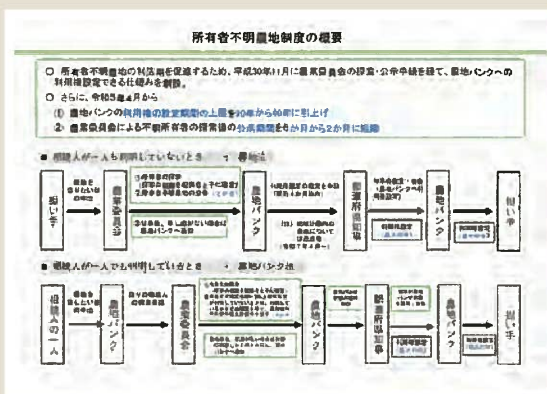
問 令和6年度から相続登記が義務化されたが、相続未登記農地は多数あると思われる。未登記農地でも農地バンクへの貸し付けはできるのか伺う。

答：町長 相続未登記農地についても農地バンクへの貸し付けは可能です。方法としては2通りございます。1つ目は、相続人が判明していて、その相続持分の半分を超える相続人から同意があれば、最長40年間、相続未登記農地を利用することが出来ます。2つ目は、相続持ち分の半分を超える相続人から同意を得られない場合や所有者が一人も判明しない場合です。この場合は『所有者不明農地制度』を活用し、相続未登記農地を利用することが出来ます。

問 本町の農地面積は2109haで

あるが、担い手への集積率は何%か伺う。

答：町長 令和6年度末の本町の集積率は53.9%となっており、令和2年度の集積率は51.9%と直近の5年間で2%増加しています。



農水省のHP



動画はこちら





西 文男 議員

畑灌施設の新規事業を要望する

一般質問

町長 埋設式への更新要望を検討する

農家所得向上のために
老朽化した畑灌施設の新規
整備事業について

問 畑灌施設で移動式散水器具等が
経年劣化等でホースの破損や器具等に
不具合が生じている為、新規整備事業が
出来ないか伺う。

答：町長 畑灌施設の耐用年数は、管
路40年なっていますが、埋設式への更新
要望を地区から聞いており、地区の気
運が盛り上がり隣接地区と合わせて数
年前倒しの検討する予定しています。

問 正名地区のモデル畑灌地区におい
ても平成21年から事業を開始して給
水栓の蓋や給水栓を繋ぐホースの経年
劣化で不備をきたしている状況です。
更新事業が出来ないか伺う。

答：耕地課長 更新事業等の立ち上
げに向けての推進委員会等での要望が
必要です。

コイン式水汲み場について

問 屋子母字はコイン式水汲み場が現

在1ヶ所のみが利用できている。他の
1ヶ所経年劣化で利用不可である。干
ばつ対策等で新設の水汲み場が出来
ないか伺う。

答：町長 水汲み場修繕し再利が良
いか、新設したほうが良いか導入経費、
費用対効果等を考慮し検討します。



コイン式水汲み場

教員住宅の建設計画について

問 町民の方が、大津勘字内の土地を
町に教員住宅用に寄付したと聞いてい
ます。教員住宅の建設計画について伺
う。

答：町長 1棟70㎡の木造平屋の教
員住宅を2棟建設予定です。造成、建

設工事を来年度中完成予定で計画し
ている。

問 当初教員住宅建設を4棟計画し
ていたと聞いているが2棟になった理由
を伺う。

答：学校教育委員会局長 土地の広さか
ら駐車場建物を設計したら2棟が限
度でした。

問 正名字に町有地で造成済みで、区
画割が出来ている場所に残りの2棟
の教員住宅は出来ないか伺う。

答：学校教育委員会局長 教員住宅の計
画で各小学校区に計画をしているので
厳しいです。



教員住宅予定地

伝統芸能保存継承について

問 現沖永良部の先人の方々が作った

シマ唄が消滅の危機あると言われてい
る、町は伝統芸能保存継承のための施
策はどのように考えているか伺う。

答：教育長 今後は、小中学校や地域
の活動を通じてシマ唄に触れられる環
境や発表・交流の場の創出、観光・地域
振興にもつなげる形でシマ唄を「町の
宝」として次世代に引き継ぐように努
力します。

問 沖永良部民謡協会も協会年会費
を積み立て10年に1回の発表会を開催
しているが町として補助や助成は出来
ないか伺う。

答：教育長 町として今年度からアグ
トラスト基金活用事業を通じて地域活
性化を目指し、自立的に活動することに
対し補助金を交付している。来年は
ぜひアグトラスト等の補助金制度に
チャレンジしてほしい。



動画はこちら





西 吉 信 議員

一般質問

住吉貝塚内の道路整備について

町長 現時点での整備は困難と判断している

**住吉貝塚内の町道屋子母
住吉線「サイクリングロード」の
幅員の拡張について**

問 現在の道路の幅員は3.3mであり、対向車との離合ができません。住民やこの道路を通行する方が困っていることから早期の幅員拡張ができないか、又は3ヶ所程度、対向車が来た時に離合できる場所の設置はできないか伺う。

答：町長 ご要望の区間については、史跡指定範囲内に含まれておりません。史跡保存の観点から、指定範囲内において物理的作爲的変更を加える行為については、県を通じて文化庁へ現状変更の申請を行う必要があります。住吉貝塚の現況としましては、史跡本体が地表面直下に残存しており、現在は盛土が比較的薄いため、史跡本体への影響が懸念されます。史跡の本質的価値を損なわないまでも、貴重な遺構・遺物包含層等を傷つけることがあってはならないと考えることから、現時点では拡張等の整備は

困難であると判断いたします。



幅員拡張要望箇所

町道の排水沈砂池の管理について

問 同箇所沈砂池の担当課はどこか伺う。

答：町長 沈砂池を管理している担当課は建設課であります。

問 今後のフェンスの修繕と沈砂池の管理についてどのように考えているか伺う。

答：町長 現時点では雑草によりフェンスの状況が確認できないため、まず伐採を行い、修繕が必要であれば対応してまいります。今後の管理については、現在事業実施中の畑地帯総合整備事業知名南西部地区の排水も当該沈砂

池へ流入していることから、水土里サークルの協定対象区域に含められないか協議を行ってまいりたいと考えております。



排水沈砂池

**住吉霊園の水道施設と
外灯の設置について**

問 住吉霊園は水道施設がなく、お墓参りや清掃の際に不便を感じています。水道施設が設置できないか伺う。

答：町長 水道施設の設置については、知名町給水条例第8条に「給水設置の新設等に要する費用は、新設等する者の負担とする。」とあるため、住吉霊園に給水装置を新設する場合は、設置者の負担で設置していただくことになります。

問 住吉霊園は外灯がなく、冬場の午後6時以降にお墓参りをされている方は車のライトを照らして花のお供えをして線香している状況にあります。そこで外灯の設置ができないか伺う。

答：町長 住吉霊園につきましては、認可地縁団体であります住吉字の保有する資産であると承知をしております。字の保有・管理する施設における工作物等の設置につきましては、さきほど水道施設のご質問に対する答弁同様、字で行っていただくか、又は霊園を使用されている皆様で行っていただくことになるものと考えております。

動画はこちら





窪田 仁 議員

観光地に公衆無線LAN設置を!!

一般質問

町長 実現の可能性を模索する

農業振興について

問 重要病害虫ジャガイモシスト線虫が、種苗産地の一部に入った情報があります。現状の把握と農家が安心して生産できる体制について伺います。

答：町長 種苗産地に検体が確認された。選荷に時間を要し種苗の到着が10日程送れる見込み。抵抗性品種「しまあかり」への移行については関係機関と協議しながら進める。

問 知名町土づくり推進事業は、土壌改良剤を購入した方に対し、1戸あたり上限10万円の助成を行っています。土壌診断の受付と結果報告を早めることはできないか。

答：町長 5月から9月までは集中します。繁忙期をずらした申し込みをお願いします。

観光・商工業の振興について

問 観光客の利便性をはかるために（屋子母海岸・沖泊り海岸・ウジジ浜）に公衆無線LANを設置できないか。

答：町長 SNS等での情報発信が



ワンジョビーチの公衆無線LAN

旅行先の選定に大きく影響しており、重要な取り組みと認識し、他の自治体の導入事例を参考に、実現の可能性を模索する。

問 商店街を訪れる方の利便性をはかるため商店街の駐車場（美屋ストア横・若大将前）に公衆無線LANの設置を。

答：町長 現時点では慎重な検討が必要。「町民提案型まちづくり基金事業」「知名町商工会経営発達支援事業費補助金」により効果的な支援を検討する。

芭蕉布について

問 前回に引き続き沖永良部芭蕉布の県重要無形文化財に向けた取り組みの進捗状況について伺います。

答：教育長 市町村指定を経て県指定となるほか、県文化財保護審議委員会からの推薦により指定に至る場合もある。

問 織士である長谷川氏を、沖永良部芭蕉布の重要無形文化財の保持者（人間国宝）として認定に向けた取り組みができないか伺う。

答：教育長 重要無形文化財に指定され技術を高度に体得している者が保持者として対象となる。申請・推薦ではなく国が全国的に調査・認定する仕組み。



沖永良部芭蕉布とストール

道路整備について

問 町道（下平川竿津線）は、沖バスが3回往復する。高等学校の通学路、牛のセリ市場と交通量が多い幹線道路です。道路整備は。

答：町長 新たな路線選定時に優先順位を検討する。それまで部分的補修で対応を検討する。

問 町道（竿津栄畑線）は、道路幅が狭く雨天時はぬかるみ、じゃがいもの収穫やサトウキビの収穫と搬出に大変苦慮しています。道路整備を。

答：町長 勾配が急で凹凸が激しい箇所については、字区長と対策を検討する。

問 住宅整備について土地の無償提供があります。若者定住住宅の建設ができないか伺います。

答：町長 土地の無償提供は、ありがたいことです。現在は国庫補助金がないため財政負担の問題から慎重な検討が必要と判断している。

動画はこちら





長山 美香 議員

一般質問

町政2期8年の成果と課題について

町長

協考・協働・協創の町政運営に努めて参りました。持続可能なまちづくりのために稼ぐ力の育成を図る必要があります。

問 町長の考える「子や孫が誇れる町」とは？

答：町長 「ThinkGlobally, ActLocally」（地球規模で考え、地元で行動する）小学生では何ができるのか、大人は何ができるのか、そういうものをしっかりと考えることができる町民を育てることが子や孫が誇れるまちづくりの一番基本となると思っています。

問 マラフェスト提出の時期について伺います。

答：町長 10月中旬頃までには提出したいと考えています。

公共交通対策について

問 利用者の安全性と利便性を考えると、なぜドアtoドアでなく停留所to停留所のデマンド交通なのか伺います。

答：町長 沖永良部バス企業団の既存の車両（バス）を活用するので、狭い道路への侵入が困難なためです。

問 今後、ライドシェアの導入、併用も在り得ますか。

答：町長 バスの運行がなくなる夜間

帯での導入ができないか検討中ですが、運行ドライバー及び事務局確保で難航することが予想されています。

デマンド交通の利便性が周知されることにより高齢者や障がい者だけでなく、合同で実施されている部活動やスポーツ少年団の移動手段としても利用が広まることが期待されます。



旧庁舎の跡地利用について

問 先導的官民連携事業の調査結果と進捗状況を伺います。

答：町長 調査結果の概要版と報告書を国土交通省のHPの公表と合わせて町のHPと公式ラインにて公表して

おります。現時点では整備する施設のコンテナツや規模等を検討し、適宜関係機関から資料収集等を行っている段階です。令和9年度までに関係団体、有識者及び意欲のある有志等を交え、整備するコンテナツの方針及び運用方針を固め、プロポザール発注する予定です。

問 概要版を見ますと令和6年2月のまちづくり町民会議の答申内容が大いに活かされています。多世代交流ができる複合施設であること、複合施設が商店街の活性化に繋がることが町民の願いです。昨年9月議会にて「商店街のみなさんの声をすくい上げることが重要」と答弁されていますが、その後商店街の皆さんと町長や担当者が直接話し合う場があったのか伺います。

答：町長 まちづくり町民会議やその他会議等で機会あることに話をするということができたのではないかと思います。

問 ぜひ、商店街に足を運んでいただき、女性の商店主の方々と語り合って頂きたいと思います。待ち望まれる複合施設の完成時期は？

答：総務課長 今の時点では申し上げられませんが。

庁舎移転が商店街に与えた影響はとて大きく、跡地利用と共に商店街活性化のサポートの充実を求めました。

島の駅の事業効果イメージ



(5)引用元
国土交通省ホームページ「先導的官民連携支援事業等」
令和6年度調査事例集
「知名町(鹿児島県)一概要版」より引用

「町民への周知が今回の一般質問に共通するテーマでした。『あの事業は今どうなっているのか』『今度始まる○○って何?』を、町民にわかりやすく説明し理解を得ながら進めていくことが町の大切な役目であると考えます。

動画はこちら





根釜昭一郎 議員

一般質問

「ヘルシーリゾートアイランド構想」に取り組んでほしい

町長 地域の実情に応じた可能性を検討したい。

健康長寿のしまづくりについて

問 「ヘルシーリゾートアイランド構想」に向けて取り組む考えはあるか。①医療・介護・福祉と観光を連携させた「健康長寿のしまづくり」を推進する意欲はあるか。

答：町長 近年、全国的にウェルネスツーリズムやヘルシーツーリズムと呼ばれる分野が広がりを見せており、観光と健康づくりを組み合わせた新しい形の旅の在り方が注目されておりま

す。本町におきましても、豊かな自然環境や温暖な気候といった地域資源を背景に、滞在型観光や体験型観光の充実に努めているところであり、「健康長寿」を切り口とした観光振興の可能性は大きいものと認識しております。そのなかで、観光との連携を通じて移住・定住の促進にもつなげることが重要な視点であると考えております。具体的には、健康をテーマとした滞在プログラムや地域の食・運動・癒しの要素を活かした体験メニューの展開が、



「故徳田氏の想い」具現化に向けて

長期滞在や地域への関心を高める契機となる可能性があります。また、高齢者をはじめ幅広い世代が安心して暮らせる地域環境の整備は、観光と並行して移住・定住促進の基盤ともなりうるものです。これらは地域の活性化に寄与するとともに、持続可能な地域社会の構築に資する取組となることが期待されます。

介護人材不足について

問 介護人材不足の現状と課題分析は。

答：町長 令和7年7月に介護施設等に対して実施した「介護人材に関するアンケート調査」では、職員の不足人数は31人となっています。そのなかでも介護福祉士等の、直接、介護業務にあたる職員の不足人数は22人となっており、他の職種に比べても介護職員の不足が大きな課題となっています。また、職員の年齢を見ると60代がもっとも多く、70代の職員も多数働いておられます。介護需要がピークになる時期に現在働いている職員の退職が重なる恐れも課題として認識しております。

したがいまして、本町といたしましては、「健康」と「観光」の連携を念頭に置きつつ、移住・定住促進の観点も含め、地域資源の有効活用や環境整備の方向性について情報収集や研究を深めながら、地域の実情に応じた施策の可能性を検討してまいりたいと考えております。



沖永良部で頑張る特定技能実習生



沖永良部で頑張る特定技能実習生

動画はこちら





川畑 光男 議員

一般質問

田水団地の今後計画について

町長 田水団地建設・造成工事の今後の計画

田水団地について

問 田水団地の解体について、居住者への説明はどのように考えているか。

答：町長 田水団地の解体は、来年度から順次実施してまいります。これまで、立替に向けて政策、空き家の確保を進めおり、現在入居者が居ない棟から解体に着手していく計画であります。

居住者への説明は、本年2月に入居者全員を対象に説明を開催しました。

問 解体後の造成と建設工事についてはどのような計画がなされているか伺う。

答：町長 田水団地は現在、上・下の敷地に分かれていますが、建て替えにあたっては上段の敷地へ集約して整備する計画であります。解体後の造成につきましましては、団地の現状を活かしつつ、新たな計画する住宅の配置や規模に合わせて、必要な造成工事を実施してまいります。

問 住宅の世帯数は何世帯か、また建設においては鉄筋コンクリートで何階建てを計画されているか伺う。

答：町長

住宅の建設工事につきましては、全体を4期に分け、段階的に実施する計画であります。住宅建設予定戸数は28戸を計画しております。構造・階数につきましては、費用対効果等の観点から木造の平屋建てを計画しています。



田水団地空屋



田水団地玄関

小型風力発電機について

問 メントマリ公園に設置されている小型風力発電機の今後の対応について伺う。

答：町長 メントマリ公園に設置しております小型風力発電機につきまして、雨水の進入や漏電により発電機及び変圧器等の故障を確認しています。故障原因は雨水の進入であるから、これまでの対応策についてメーカーと協議を行ってまいりました。現在、修理費用に関する再見積もりを行っており、確定次第、速やかに修理を依頼する予定としております。

問 フローラルパークに設置されている小型風力発電機の検証結果と今後の対応について伺う。

答：町長 フローラルパークに設置しております小型風力発電機につきましては、町のエネルギー施策を検討するため、令和2年度に奄美群島成長戦略推進交付金を活用し設置したもので、小型風力発電設備を活用したマイクログリッドの設置検討を行いました。

導入した設備では事業の実施が困難と判断、現在は、太陽光発電を中心とした施策を展開しています。



小型風力発電機

バス修理について

問 おきえらぶフローラルホテル小型コミュニティEVバスは、2024年4月に導入、5月に島外に修理依頼し6月に完了した。故障原因と修理に係るコストについて伺う。

答：町長 走行中に車両の故障を示す警報が表示され停止するトラブルが発生し、モーターを構成する部品の一部に不具合が確認された。なお本車両はリース契約により導入しており、保守管理に関する内容も契約に含まれており、今回の修理に関して町の費用負担は発生していません。

動画はこちら





原崎 幸雄 議員

一般質問

NPO法人メッシュサポートへの支援について

町長 支援に向けて準備する

サポート支援について

問 令和4年5月20日、特定非営利活動法人メッシュサポートの理事長が資金援助の依頼に来られたとのことで、同年7月の離島行政懇談会では問題提起されたが、その後どうなっているのかを伺う。

答：町長 準緊急患者を沖縄県の医療施設に搬送するだけではなく、術後に島に帰島する時も搬送するなど、離島の医療に大きく貢献している。現在までの搬送数は、準搬送56回、帰島搬送73回計129回。このうち沖永良部の方の利用回数は53回と他の島よりも、はるかに多くなっています。この活動のすべてが多くの方々の善意の寄付で賄われているということを知りました。県の回答は、県をまたぐことなので両県で検討を有することになり、時間がかかるということでした。その後何の進展もなく、奄美群島市町村会でも話題に上げましたが、その時は皆さんから前進するような回答はありませんでした。只、今年もすでに沖永良部では準備

急搬送1名、帰島搬送4名の方がお世話になっていました。

問 このように、メッシュの活動は奄美群島の離島医療に大きく貢献されています。知名町・和泊町の医療機関からは善意の寄付がされておりますが本町としては何かしらの支援は検討されているかを伺う。

答：町長 この件については今年7月、奄美やんばる交流会の前に市町村会に塚本理事長を招聘し、メッシュサポートの実績と経営状況について説明会を行い理解を深める事はできたと思います。与論町がすでにふるさと納税から50万円ほど寄付をしているので知名町も同様の対応をしていく準備を始めます。

問 メッシュの活動を維持していくためには、鹿児島・沖縄の両県の連携が必要なため、本町として働きかけを行うべきではないか。

答：町長 奄美群島市町村としては固定翼（飛行機）による緊急搬送が行われています。まずは、この固定翼による搬送補助分を沖縄県と折半するよう働きかける必要があると考えてお

ります。沖縄県北部緊急医療体制として行われているように、奄美群島振興開発予算と群島市町村で補助するような体制づくりを群島市町村に働きかけていくつもりであります。



沖縄から帰島する患者



活動の様子



メッシュ保有のセスナ機

動画はこちら



令和7年第3回知名町議会定例会議決結果

整理区分	議案番号	付議件名	議決結果
報告	第7号	令和6年度健全化判断比率について	
報告	第8号	令和6年度資金不足比率について	
報告	第9号	おきえらぶフローラル株式会社の経営状況を説明する書類の提出について	
報告	第10号	私債権の放棄について	
議案	第54号	令和6年度知名町水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案	第55号	令和6年度知名町下水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
認定	第1号	令和6年度知名町一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定	第2号	令和6年度知名町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定	第3号	令和6年度知名町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定	第4号	令和6年度知名町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定	第5号	令和6年度知名町奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定	第6号	令和6年度知名町土地改良事業換地清算特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定	第7号	令和6年度知名町水道事業会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定	第8号	令和6年度知名町下水道事業会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案	第56号	知名町議会議員及び知名町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案	第57号	令和7年度一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案	第58号	令和7年度知名町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案	第59号	令和7年度知名町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案	第60号	令和7年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案	第61号	令和7年度知名町下水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案	第62号	知名町フローラル館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案	第63号	沖永良部地区基幹水利施設管理条例の制定について	原案可決
議案	第64号	工事請負契約の締結について(令和7年度 新住吉団地改修工事)	可 決
議案	第65号	工事請負契約の締結について(令和7年度 あしびの郷空調機修繕工事)	可 決
陳情	第3号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採 択
発委	第3号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書について	原案可決
発議	第3号	決算審査における付帯意見に関する決議について	決 定
発議	第4号	議員派遣の件について	決 定
決定	第5号	閉会中の継続調査の件について	決 定
決定	第6号	閉会中の継続調査の件について	決 定

決算審査特別委員会 令和6年度決算審査の概要

財政健全化に向けた課題と提言

本町の実質収支比率は1.6%にとどまっており、望ましいとされる標準財政規模の3%から5%に達していません。また、財政力指数や実質公債費比率も、昨年度並みではあるものの、県内町村の平均値には及ばない状況です。これらの数値は直ちに重大な事態を示すものではないものの、財政運営の基本として重大です。

今後、実質収支比率などの財政指標を改善・向上させるため、収入の確保と支出の抑制を着実に進める必要があります。これは現在だけではなく、将来の住民生活にも大きな影響を及ぼす極めて重い課題です。関係機関が総意をもって健全財政の運営に取り組むことが期待されます。

決算審査付帯決議

令和6年度の決算に関して、行政運営と事業執行における改善を求める付帯決議を行いました。主な改善点は以下の7つです。

1. 成果説明責任と情報公開

成果説明書は事業目的や実績を具体的に明記し町民への説明責任を果たすこと。

2. 行政運営の効率性と適正性

委託費や随意契約は契約過程の明確化と費用対効果の検証を徹底する。また、繰越予算の縮減や補助金の妥当性を検証し、年度内に事業を完了させる執行管理を徹底すること。

3. 財産管理と未利用財産の処分

未登記の財産や登記手続の遅延がみられるため、速やかに登記を完了させ、未利用財産を売却するなど財政健全化を図ること。

4. 基金の活用

基金は適正な水準を見極めた上で、町民生活の向上や地域課題の解決に資するよう積極的に活用すること。

5. 教育・福祉施策の実効性

職員不足がサービス水準に影響を及ぼさないよう、人員配置と予算の適正な運用を求める。

6. 防災・防犯体制の強化

防災無線や防犯灯などの更新事業は補助金や地方債を有効活用し、事業効果を検証し、持続可能な管理体制を整備すること。

7. 不祥事に伴う財政負担と再発防止

職員の不祥事による財政負担に対し、原因究明と損害額の回収に努め、再発防止のために内部統制や職員研修を強化すること。

歳入に関する質疑

予算執行率と未執行額

質問 一般会計の執行率が90%台にとどまり、約10%が未執行である理由を伺う。

回答 繰越事業費、入札不調、業者の人手不足が主な原因であり、できるだけ単年度での完了に努める。

委託費の増加

質問 委託費が約5億1,000万円(187件)(予算の6.57%)と多すぎないか。

回答 今後、個別の委託内容を精査する。

自動車・軽自動車税の未収額

質問 約60万円の未収額があることに対する確実な徴収策を伺う。

回答 滞納処分を厳格に実施しており、今後も回収に努める。

土地売払収入

質問 売却した土地の内訳と、今後の未利用町有財産の処分方針を伺う。

回答 旧道や資材置き場だった町有地を隣接住民に売却した事例があり、今後も希望者がいれば現場確認の上、相談に応じる。

歳出に関する質疑 (一般管理費・地域振興)

業務可視化フロー作成支援事業

質問 363万円の委託料で行われた窓口業務可視化事業の内容と効果を伺う。

回答 システム標準化やオンライン化を前提とした業務可視化を進め、今後の業務改善に役立てる。

サテライトオフィス運営費

質問 委託料の支払い状況と、町への使用料126万円が滞納となっている状況と対策を伺う。

回答 委託料は四半期ごとに支払い済みだが、町への使用料は前例により年度末一括請求で、現在滞納中。定期的な督促を行い、再発防止に努める。

歳出に関する質疑 (福祉・教育)

高齢者地域支え合いグループポイント事業

質問 活動への助成金の増額ができないか伺う。

回答 1グループ年間100回(10万円)が上限で、まだ上限に達していないグループが多いため、活動促進を呼びかける。

歳出に関する質疑 (産業・環境)

沖永良部食品リサイクルセンター閉鎖

質問 閉鎖後の生ごみ増加対策と液肥の在庫処理を伺う。

回答 対策はとっていないが、閉鎖後も今年度4～7月のゴミ持ち込み量は前年度比約4%減少。液肥の在庫は町管理の畑で活用し、一般配布は行わない。

諸般の報告

令和7年 6月17日～9月8日

月	日	報告事項
6月	17(火)	令和7年第2回定例会(議会議事堂)
	18(水)	令和7年第2回定例会(議会議事堂)
	19(木)	令和7年第2回定例会(議会議事堂)
	21(日)	第68回沖永良部高等学校文化祭(沖永良部高等学校)
	25(水)	令和7年度知名町消防団後援会総会(大会議室) 令和7年度議員と語る会(竿津公民館・屋子母公民館)
	26(木)	令和7年度議員と語る会(上城公民館・住吉公民館)
	27(金)	令和7年度議員と語る会(田皆公民館・瀬利覚公民館)
	28(土)	沖永良部島漁業協同組合第65回通常総会(沖永良部島漁業協同組合)
	29(日)	令和7年度第44回ゆめ・ときめき南三町交流研修会(知名町フローラル館)
7月	2(水)	令和7年度第1回知名町図書館協議会及び読書活動の推進協議会(委員会室)
	3(木)	令和7年沖永良部与論地区広域事務組合議会第2回臨時会(与論町)
	10(木)	令和7年度奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会(奄美市) 例月監査(監査室)
	16(水)	知名町糖業振興会役員会(会議室)
	18(金)	令和7年度全国離島振興市町村議会議長会(第1回)等(Zoom参加)(議長室) 奄美ブロック護憲平和フォーラム(議長室)
	22(火)	キオスク端末説明会(委員会室)
	23(水)	令和8年度公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会(和泊町役場)
	24(木)	全員協議会(委員会室)
	29(火)	鹿児島県町村監査委員協議会令和7年度臨時総会及び監査委員・補助職員研修会(鹿児島市)
	31(木)	奄美群島さとうきび価格対策協議会総会(奄美市)
8月	2(土)	第33回知名町ふるさと夏まつり&大山祭 前夜祭
	3(日)	第33回知名町ふるさと夏まつり&大山祭 本祭ほか
	6(水)	経済建設常任委員会所管事務調査(霧島市)
	7(木)	市町村政研修会(鹿児島市) 県庁奄美会会員との合同懇親会(鹿児島市)
	8(金)	要望活動(鹿児島市)
	12(火)	例月監査(監査室) 第1回町政施行80周年記念事業実行委員会(大会議室)
	13(水)	令和6年度決算審査ヒアリング(委員会室)
	14(木)	令和6年度決算審査ヒアリング(委員会室)
	19(火)	正副議長研修会(鹿児島市)
	22(金)	令和7年度第1回知名町子ども・子育て会議(大会議室)
	26(火)	令和7年第2回沖永良部衛生管理組合議会定例会沖永良部クリーンセンターの施設整備方針等検討委員会(和泊町役場)
9月	2(火)	議会運営委員会・全員協議会(委員会室) 令和7年第2回国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険運営協議会(大会議室)
	3(水)	議会勉強会(委員会室)
	7(日)	JAあまみ知名事業本部園芸振興会第43回通常総会(知名町フローラル館)